

# ふれあいのある 生き生きとしたまちづくりへ

## 58年度の新規事業



昭和58年度当初予算の総額は、一般会計の歳出規模で四百七十四億六千万円余となっておりますが、このうち、新規事業は46事業、拡充事業は47事業です。今年度は、豊島区基本計画の実施の初年度にあたり、予算も基本計画の5本の柱を中心に編成されています。ここでは、新規事業のうち主なものをご紹介します。

### 勤労福祉会館の建設と 勤労者の福祉向上のために

来月5月、待望の勤労福祉会館が、池袋西口の池袋消防署の隣りに開館します。地下2階、地上7階のこの建物の中には、郷土資料館、老人いこい室、児童館も併設されます。中小企業に働く人々の文化・

教養・福祉の向上を図るため、トレーニングルーム、会議室、音楽室、多目的ホール等の最新設備を誇る各種施設のほか、様々な事業も予定されています。

生活資金貸付制度は、今年4月から一足先に始まっており、勤労者共済制度も今年から準備が開始され、来年7月発足の予定です。区内2千400か所の中小企業、約18万人の勤労者に対し、

### 教育文化施設の建設

区としては初めての総合的な教育施設として、千登世橋体育場跡に建設が予定されています。基本設計も決まり、今年度から、60年度開館へ向け、本格的準備が開始されています。

教育会館、社会教育会館、図書館、体育館、温水プールの各分野を含む教育文化のセンターとして、その完成が期待されます。

### 郷土資料館の建設

豊島区に関する文化財、郷土資料の収集、保管、展示及び各種講座の開催を通じて、豊島区の歴史・文化の理解を深める施設として、新設の勤労福祉会館内に併設され、59年6月開館する予定です。

4月7日には、郷土資料館開設準備委員会も設置され、立教大学の林英夫教授を委員長として全部で7名の委員が、資料の収集を中心に開設へ準備を進めています。

### 老人いこい室・児童館の建設

新設される西池袋2丁目の勤労福祉会館内に、老人いこい室と児童館が併設されるほか、南長崎6丁目にも老人いこい室、目白2丁目にも児童館がそれぞれ建設され、59年春に開館の予定です。

### 小型レントゲン車の配備

区民の皆さんの健康を守るため、区では巡回の住民検診などを実施していますが、このほど小型レントゲン車を購入し、町内の路地裏まで入ってより多くの方の検診ができるようにしました。

### 魚介類産地直結販売

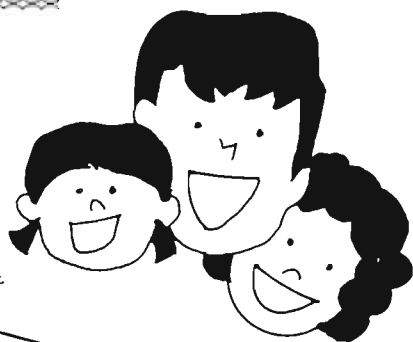
新鮮な魚介類を産地から直接購入し、区民の皆さんのお台所にお届けしようと、今年度からスタートしました。区内の協力店の店先に、年4回、現地直送のお魚が並びます。

### 昭和58年度の新規事業

I 文化をはぐくむまち（文化・教育）		III 活力のあるまち（地域経済）	
雑司が谷旧宣教師館の保存（維持補修等）	84万円	小形レントゲン車の配備	2,716万円
郷土資料館の建設（建設・開設準備 勤福会館内59年度開館）	1億9,372万円	乳がん自己検診講習会の開催	71万円
映画「豊島の風土を訪ねて」集録編集製作（59年度完成予定）	380万円	公害健康被害施設療養事業	301万円
美術作品の借り上げ展示（絵画20点）	124万円	食品衛生消費者懇談会の開催	21万円
教育文化施設の建設（設計・基金積立 60年度完成予定）	2億4,035万円	III 活力のあるまち（地域経済）	
巡回教育相談（相談員1人）	208万円	広域商業診断（実態調査）	386万円
図書館の建設用地買収（1館）	5億2,000万円	魚介類産地直結販売（年4回）	341万円
「都電荒川線の春秋」(仮称)の発行（3,000部）	240万円	消費生活相談（年50回）	53万円
豊島区郷土カルタの発行（2,000部）	160万円	勤労者共済制度の創設（準備・意向調査）	575万円
婦人の地位向上（婦人の実態調査・講演会）	606万円	勤労者生活資金の融資あっせん（原資1,000万円・限度額一総30万円、特認50万円）	1,186万円
学校体育館の増改築（西巣鴨小、高田中）	2億6,259万円	勤労福祉会館の建設（建設・開設準備 59年度開館）	9億1,839万円
西巣鴨仮設体育場の建設（テニスコート、多目的グラウンドなど）	3,344万円	IV 災害につよいまち（防災対策）	
姉妹都市交流推進会議(仮称)の設置	150万円	高床工事助成（限度額 300万円）	900万円
II 生活を尊重するまち（福祉・保健）		神田川沿線高低測量（高田1丁目～3丁目）	650万円
老人介護料助成（入院・120人）	600万円	V うるおいのあるまち（都市整備）	
老人クラブ指導員の配置（2人）	290万円	市街地再開発事業（基本計画等作成調査委託 池袋2丁目）	450万円
老人いこい室の建設（2か所・勤福会館内と南長崎6丁目）	2億8,784万円	居住環境総合整備事業（整備計画調査委託 本道貫住宅宅除去費3棟分、東池袋4・5丁目）	1,123万円
児童館の建設（2か所・勤福会館内と目白2丁目、59年度開館）	3億2,140万円	公園・児童遊園の整備（用地買収・公園1か所、児童遊園1か所、新設児童遊園3か所）	8億8,612万円
心身障害者関係福祉団体指導者研修会の開催（対象80人）	16万円	道路の緑化（補助174号線160m植樹帯の新設）	720万円
「心身障害者福祉のしおり」(点字版)の発行（300冊）	105万円	緑道の整備（谷端川・丸山橋～長崎橋 165m）	2,380万円
手話通訳の派遣（派遣50回）	57万円	豊島区緑被状況ハネルの作成	130万円
点字タイプライターの設置（心身障害者福祉センター）	162万円	計画の実現のために	
さくらの家利用者に対する交通費の支給	48万円	情報公開制度の準備（60年度実施へ向け準備、文書調査、目録作成委託等）	446万円
		まちづくりの推進（講習会・コンサルタント派遣等）	497万円

# 家計簿は

のあらまし



## 昭和58年度予算の編成方針

区政をとりまく財政状況は、国、地方を通じ、まことに厳しい状況にあります。

昭和58年度の国の予算は、経済成長率を實質3・4パーセント程度と見込み、3年連続3パーセント台という低成長を背景に、また、「増税なき財政再建」に向けて、昨年7月臨時行政調査会から提出された「基本答申」をベースとして編成され、対前

年度当初比では1・4パーセント増、実質規模では3・1パーセント減という昭和25年度以来の超緊縮型の予算となっています。

一方、地方自治体の財政運営の指針でもある、昭和58年度の地方財政計画では、財政規模は前年度当初に比べて0・9パーセント増と地方財政計画史上、最低の伸びとなっています。東

京都でも例外ではなく、昭和58年度一般会計予算の対前年度当初比では、3・9パーセント増と低い伸びになっています。

以上のように、国、地方を問わず行政をめぐり厳しい状況のなかで、昭和58年度の豊島区の子算を編成しましたが、その基本的な考え方は、豊島区基本構想に基づき昭和57年11月に策定された基本計画を、的確かつ

着実に実現することに最大の力を置いていきます。

この基本計画は、社会経済の急激な変化に対応して、区民の区政に対する要望がますます多様化、複雑化しているなかで、基本構想を貫く基本理念である「自治と参加の確立」、「自立と連帯の推進」、「生活と文化の創造」を基本として、区政を取りまく、あらゆる課題が集大成され、体系化されたものであります。

この基本計画を実現するため昭和58年度から昭和60年度までの3か年を計画期間とする実施計画を、予算編成と平行して策定しました。

実施計画は、基本計画の計画目標や、計画事業の実現性、優

先度、財源などを総合的な観点から検討して、諸事業を具体化し、年度別の計画を明らかにしたもので、今後、毎年度ローリングし、社会経済の変化に対応してその実現を担保していきます。

昭和58年度の子算編成は、以上のように極めて厳しい現下の財政状況を踏まえ、事務事業の見直しを含む経常的経費の削減合理化に務めるとともに、一方、基本計画の実現に向けて、可能な限り新規事業の創設あるいは事業の拡充を図り、区民福祉の向上と健全な財政運営に努めました。

1人当たりの予算額

172,145円

57年度は  
170,942円

1月1日現在の住民基本台帳による人口により算出

### 区で使うお金 (歳出)

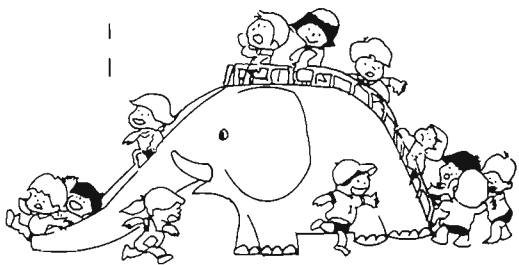
474億6,292万円

生活援護や老人福祉、心身障害者福祉、児童福祉などに

#### 民生費

184億6,740万円

38.9%

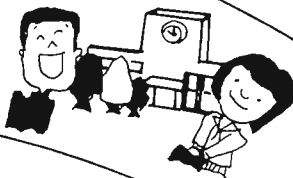


幼稚園、小・中学校、体育館、図書館などに

#### 教育費

76億1,144万円

16.0%



住民情報システムや私立幼稚園児の助成、区民保養施設の運営などに

#### 総務費

72億1,511万円

15.2%



道路舗装や公園・児童遊園の新設などに

#### 土木費

32億3,388万円

6.8%



医療助成や検診、予防接種などに

#### 衛生費

25億4,183万円

5.4%





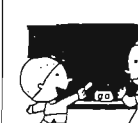







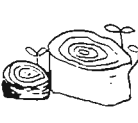









商工業の振興や勤労福祉会館の建設、防災対策、施設用地の買収、区債の返還などに

#### その他

83億9,326万円

17.7%

### 予算1,000円はどのように使われていますか

用地の取得、私立幼稚園児助成などに  127円	保育園、児童館に  125円	小学校、中学校、幼稚園に  121円	老人福祉、心身障害者福祉などに  115円	生活保護に  106円	国民年金や戸籍事務、出張所などに  98円	公害補償、保健衛生に  54円	商工業の振興、勤労者福祉に  49円	道路、街路灯などに  47円	社会教育、図書館、スポーツに  39円
区債の返還に  37円	税を集めるのに  13円	区議会に  13円	公園、児童遊園、公衆便所に  12円	防災・公害対策、緑化・自転車対策などに  12円	区民センター・公会堂・区民保養所に  10円	建築指導などに  9円	財政調整基金の積立に  6円	統計調査、選挙、監査に  6円	予備費に  1円

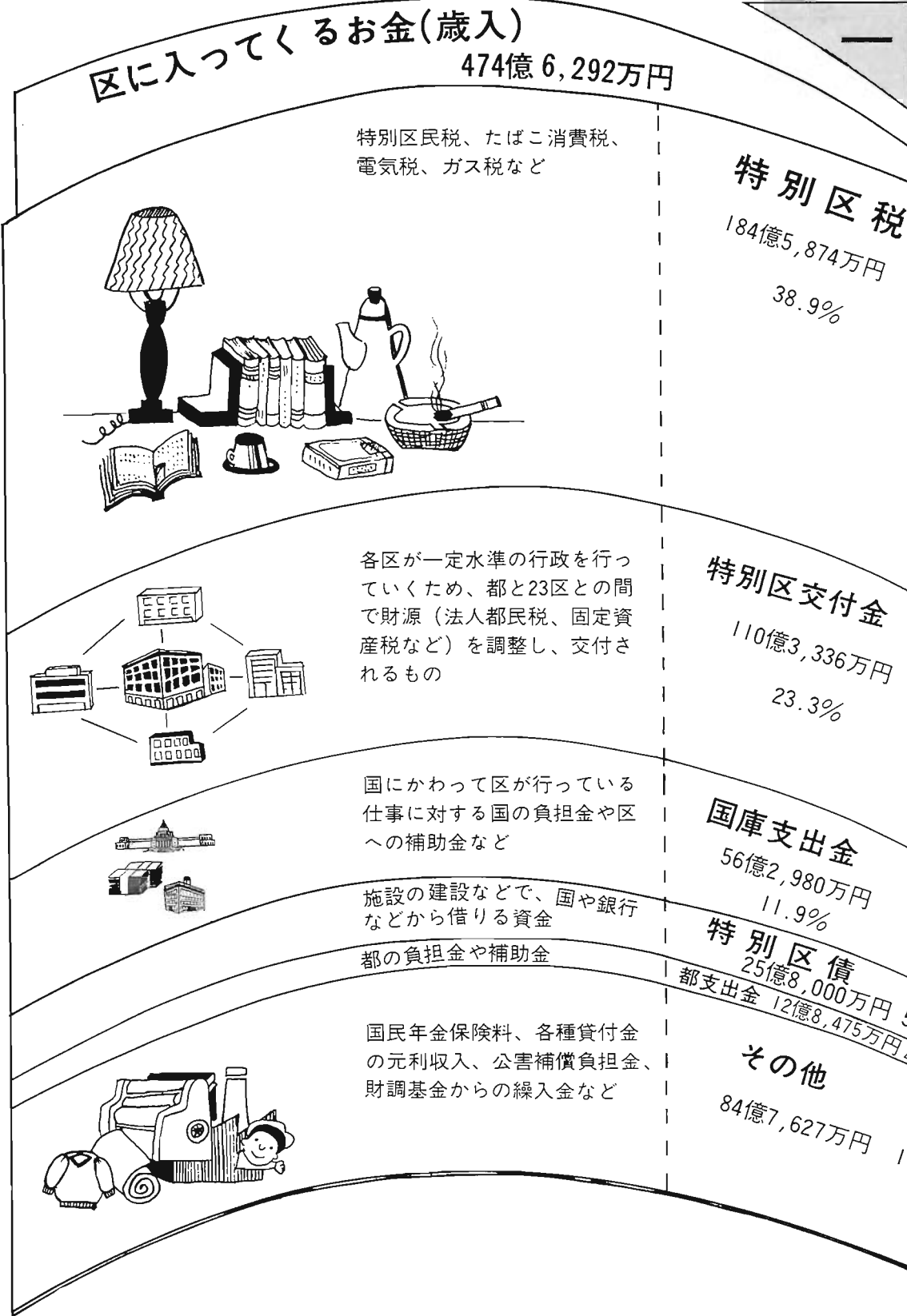
年度当初予算の比較

年度	56年度(A)	57年度(B)	58年度(C)
会計		( )内は伸率 $\frac{B}{A}$	( )内は伸率 $\frac{C}{B}$
一般会計	424億 130万円	465億1,933万円 (+9.7%)	474億6,292万円 (+2.0%)
性人件費	143億8,778万円	155億2,904万円 (+7.9%)	160億6,486万円 (+3.4%)
質物件費	79億4,490万円	88億1,357万円 (+10.9%)	94億 80万円 (+6.6%)
別扶助費	86億9,064万円	94億 430万円 (+8.2%)	85億7,941万円 (-8.7%)
の投資的経費	52億8,395万円	63億3,109万円 (+19.8%)	66億7,010万円 (+5.3%)
比公債費	13億7,445万円	15億6,263万円 (+13.6%)	17億5,111万円 (+12.0%)
較その他	47億1,959万円	48億7,870万円 (+3.3%)	49億9,664万円 (+2.4%)
国民健康保険事業会計	115億8,631万円	116億7,002万円 (+0.7%)	110億9,798万円 (-4.9%)
老人保健医療会計	—	—	89億6,795万円
公益質屋事業会計	5,349万円	3,047万円 (-43.0%)	—
計	540億4,110万円	582億1,982万円 (+7.7%)	675億2,885万円 (+16.0%)



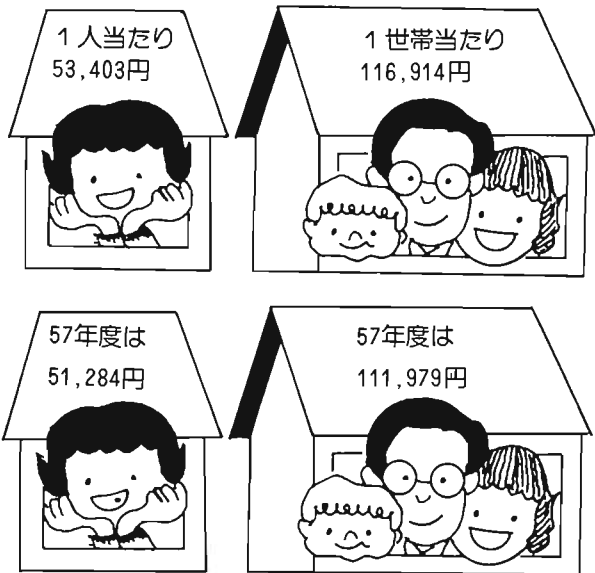
# 豊島区

昭和58年度

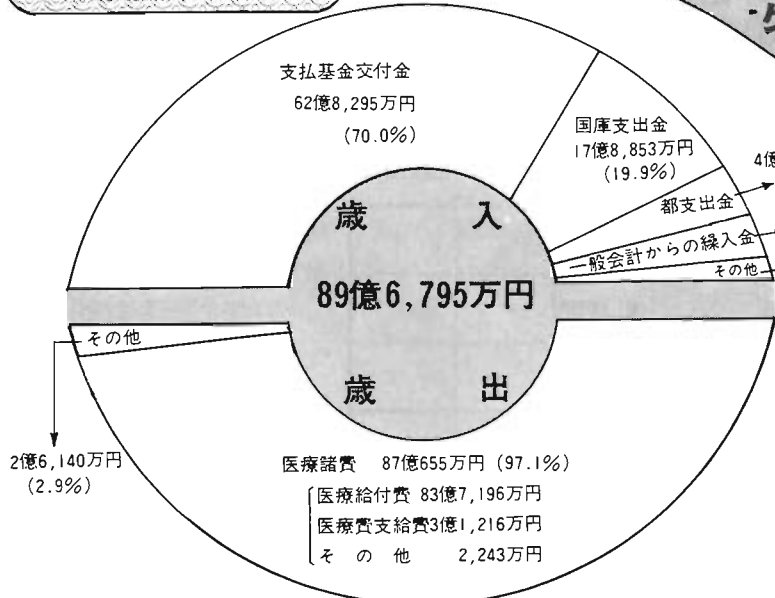


## 区民税の負担状況

1月1日現在の住民基本台帳による世帯と人口により算出

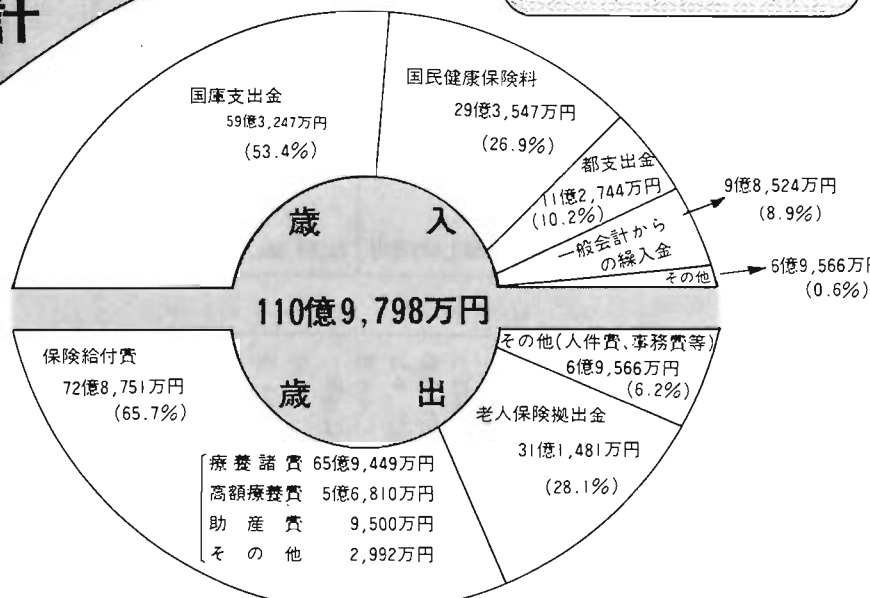


### 老人保健医療会計



### 特別会計

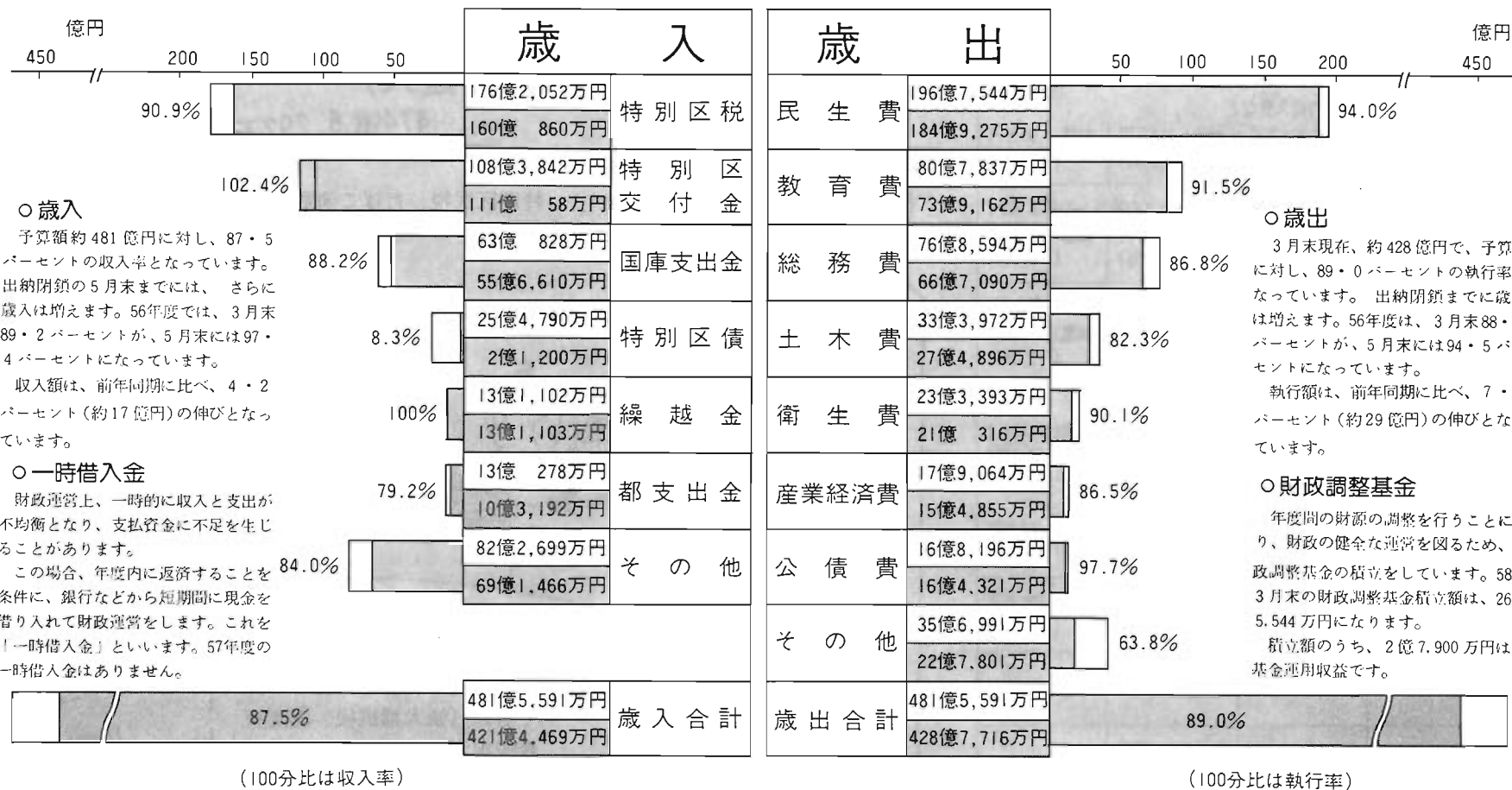
### 国民健康保険事業会計



# 昭和57年度予算の執行状況 (58年3月末現在)

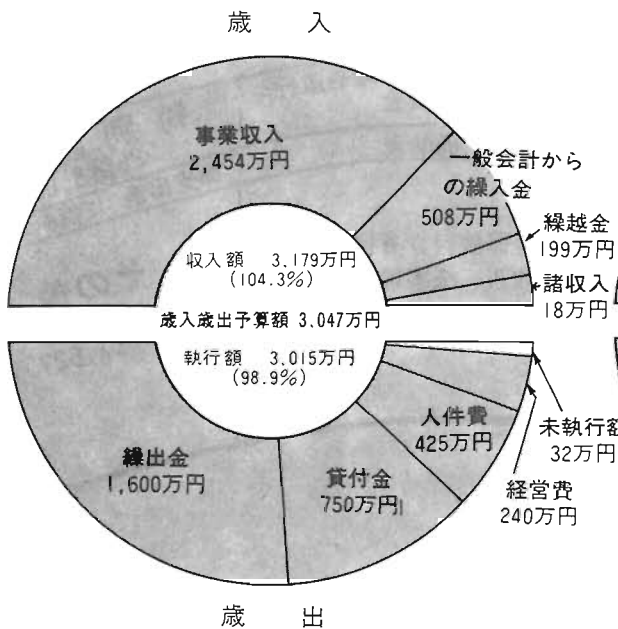
## 一般会計

収入と執行の状況 (上段：予算額、下段：収入額または執行額)

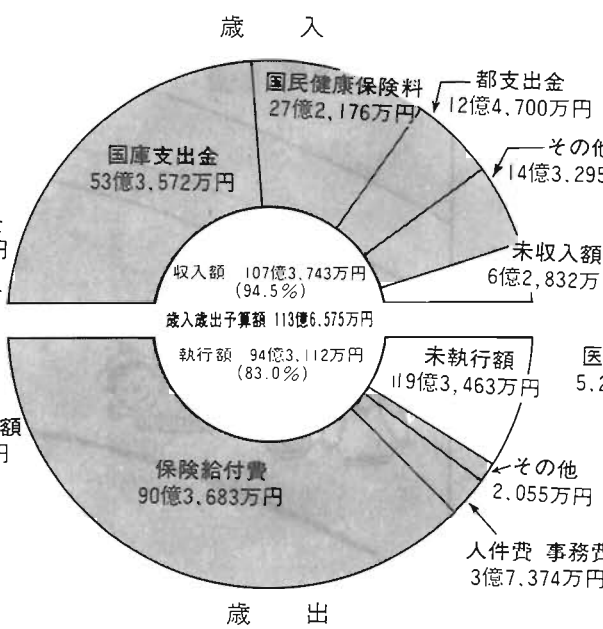


## 特別会計

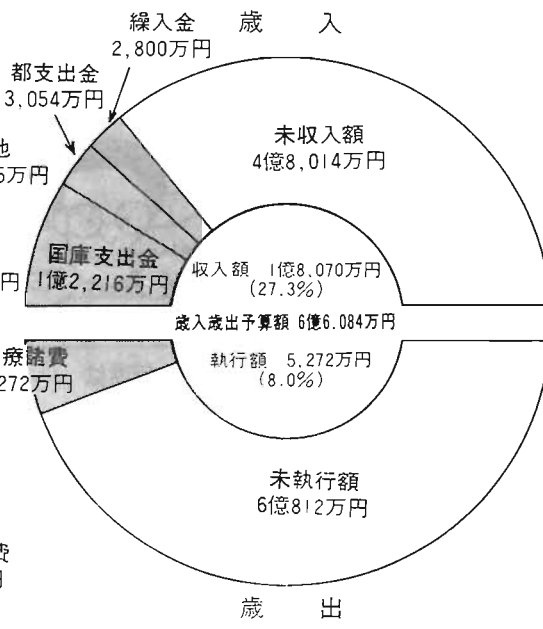
### 公益質屋事業会計



### 国民健康保険事業会計



### 老人保健医療会計 (58年2月から)



土地	建物	株券・債権等	基金
577,533㎡	318,407㎡	4億9,529万円	26億9,086万円

### 区有財産の状況

### 特別区債現在高 (58.3.31現在)

発行目的	現在高	借入先			
		政府	東京都	公庫	銀行
出張所・区民集会所建設	8,283万円		8,283万円		
保育所・児童館・老人いこい室・心障者施設の建設など	27億613万円	13億1,508万円			13億9,105万円
保健所建設	5,771万円	5,771万円			
勤労福祉会館建設	2億1,200万円		2億1,200万円		
貯水槽・衛生倉庫建設	3,175万円		3,175万円		
道路舗装改良・公園建設など	26億8,678万円	3,300万円		3億3,200万円	23億2,178万円
校舎・社会教育施設建設、学校用地買収	23億6,937万円	6億3,317万円			17億3,620万円
計	81億4,657万円	20億3,896万円	3億2,658万円	3億3,200万円	54億4,903万円

### 特別区債の状況

各種厚生施設や、学校、図書館、公園などの大規模な施設を建設するには、一時的に多額の財源を必要とします。これらの財源は、本来、当該年度の歳入でまかなうべきです。しかし、これらの施設は、永

統的に区民の利用に供されることから、将来の区民にも負担を求めることが公平であること、また当該年度の通常の財源でまかなうことが困難であることなどを考慮して、国などから長期にわたって資金を借り入れていきます。これを特別区債といま

### 財政状況の公表

財政状況の公表は、「地方自治法」と「東京都島嶼区財政状況の公表に関する条例」に基づいて、毎年2回(6月と12月)行われます。

区では、区民の皆さんに納めていただく特別区税のほか、特別区交付金や、国・都の支出金、特別区債などの財源を使って、区民福祉の向上のため、いろいろな事業を行っています。

今回は、昭和58年度予算の概要と、昭和57年度予算の執行状況(58年3月末現在)についてお知らせしました。

詳しく知りたいことや疑問の点がありましたら、財務課財政係(22262)へおねねください。